

**児童・生徒の現状・課題**

- ・昨年度の研究成果として、学びの個性化を意識した取り組みにより、主体的な学習姿勢が育まれたり、児童が自分で目標を設定し、互いに高め合いながら課題に挑戦したりする姿が見られ、個別最適な学びが進展した。
- ・学力調査では全国、東京都共に平均を下回っており、個別の学力の伸び悩みや、基礎学力の定着が課題となっている。そのため児童の実態に即した基礎学力の定着を目指した指導法の工夫と授業改革が必要と考えられる。



**学び続ける力を育むための重点目標**

- 学び続ける力の土台作り  
～基礎学力の定着を目指した指導法の工夫～



**具体的な手だて①**

- ・学習計画を立て、学び方を選択する。

児童が自ら学習内容を調整し、目標を達成するための学び方を選択することで、主体的な学びを促し、自信がもてるようにする。

**具体的な手だて①**

- ・モジュール学習の継続

漢字、計算など、短時間(15分程度)のモジュール学習を継続することで、長期記憶へと移行できるようにする。

**具体的な手だて③**

- ・学習規律の徹底

机上整理の徹底や話を聞く時の姿勢など、各ブロックで基準を共有して指導できるようにする。



**校内で共有し、授業改革を日常化するための工夫**

- ・研究のクラスルームをつくり、日々の実践や意見、相談を書き込めるようにする。
- ・講師を招き研究テーマについて講演をしていただき、基礎学力の定着を目指した指導法の工夫についての共通認識がもてるようにする。
- ・各ブロックで、同じテーマで校内研究を行い、授業を互いに見合う機会を作る。

**児童生徒調査**

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(9月)	結果(1月)
①自分から進んで計画を立てて学習している。	75.2%	77.0%	
②問題や課題に、粘り強く取り組むことができる。	79.2%	80.0%	

**教員調査**

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(9月)	結果(1月)
①授業では、学習課題や学習過程等、児童が学び方を選択する場面を設定している。	85.0%	87%	
②学び続ける力を育むために授業や家庭学習等において、手だてを講じた、指導したりしている。	75.0%	77%	

**総括(5月)**

本校の学力調査では全国、東京都共に平均を下回っており、個別の学力が伸び悩んでいる現状がある。また MNE 調査の結果から、「自ら学習計画を立てて学習している」と自信をもって答えた児童が少ないことが分かった。そのため、授業改革の目標を、昨年度の個別最適な学びを継続させつつ、「基礎学力の定着を目指した指導法の工夫」とし、児童に漢字、計算など短時間での繰り返し学習や学習規律の徹底、さらに、単元計画を行う際に、児童が学び方を選択する場面を設けることで、基本的な学力を高める意欲に繋げることを授業改革の芯に据えた。

**総括(1月)**